

平成 29 年度

# 市長公室の取り組み実績

<部の構成>

秘書課、広報課、広聴相談課、人権政策室

## 1. 重点施策・事業

### (1) 人口誘導・定住促進につながる情報発信

#### 目標

市の魅力を広く市外へも PR するため、さまざまな手法による情報発信を行います。  
市制施行 70 周年記念事業の実施にあわせ、市の魅力を広く市内外へ効果的・効率的に発信し、人口誘導・定住促進につなげます。

#### 取り組み

広報アドバイザーからの助言を踏まえ、地域情報誌や民間事業者とのタイアップなどにより、市の魅力を市内外へ強く発信します。  
市制施行 70 周年記念事業として、大阪市内にある京阪電車や JR の主要駅、また車内などに本市の広告を一斉に張り出す事業を実施します。また、枚方市内で撮影されたさまざまな年代の家族写真を掲載する写真集「70 年！枚方家族（仮称）」を発行します。  
市ホームページに、市の魅力を発信する定住促進サイトを新設します。

平成 29 年度当初予算：4,508 千円

#### 実績

市制施行 70 周年記念事業として、7 月 25 日～8 月 27 日に「駅広告で大阪をジャック！」として市外の主要駅でポスター等の掲出や京阪電車内の吊り広告等の PR 活動に取り組みました。期間中に淀屋橋駅構内にブースを設け、枚方市のクイズを載せたうちわや市勢要覧などの配布をあわせて行ったほか、70 周年記念写真集「70 年！枚方家族」を 11 月に発行しました。

市ホームページには、8 月 1 日に、市外在住の子育て世帯をターゲットとした定住促進サイト「住んでくれるなら、マイカタでもいい。」を開設しました。

民間事業者との連携については、市制施行 70 周年記念イベントなどの有料広告掲載や、地域情報誌と連携したふるさと寄附金の返礼品企画「文化財ツアー」の特集、吉本興業の CS 放送バラエティ番組「枚方ちゅんねる」とのタイアップなどを実施しました。

平成 29 年度決算：2,026 千円

取り組みに対する達成状況

【 ◎ 】

### (2) 全庁的な情報発信力の強化

#### 目標

庁内全体の情報発信力をさらに高めていくため、各部署との連携強化を図るとともに、職員の広報意識向上を図ります。

<b>取り組み</b>	<p>各部署からの広報に関する課題に対して助言を行うほか、庁内報を作成することにより広報手法の周知に努めるなど、庁内の情報発信に係る支援体制を構築します。</p> <p>職員の広報スキル向上のため、若手職員を対象とした情報発信に関する研修を実施します。</p>
	<p>平成 29 年度当初予算：113,162 千円</p>
<b>実績</b>	<p>全庁的な情報発信力強化及び職員の広報意識向上を図るため、若手職員対象の研修として、6月に広報担当者向け「効果的なプレスリリースについて」の研修、7月にホームページ担当者向け CMS 研修を実施しました。また、「頼りになる広報課」として、各部署が持つ広報課題へ助言等を行う庁内支援体制を構築し、ポスターデザインなどを中心に随時相談を受け付けました。その他、職員一人ひとりのスキルアップにつなげるため、「伝わる」を意識することの大切さやチラシ作りのポイントなど、役立つ情報をまとめた庁内報「広報のチカラ」第1号を2月末に発行しました。</p>
	<p>平成 29 年度決算：76,003 千円</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<p>【 ◎ 】</p>

### (3) 平和施策や人権施策の推進

<b>目標</b>	<p>悲惨な戦争の経験を風化させることのないよう、戦争の恐ろしさや平和の尊さを若い世代に伝えるとともに、一人ひとりの人権が尊重されるまちづくりに取り組みます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>市民一人ひとりの平和に対する意識の醸成を図るため、市制施行 70 周年記念事業として実施する「平和の燈火（あかり）」や「ひらかた平和フォーラム」をはじめ、平和資料室のパネル展示、平和映画会、講演会などに取り組みます。</p> <p>また、人権が尊重されるまちづくりの実現に向け、より多くの市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、講座や映画会など多様な人権啓発事業を展開します。</p>
	<p>平成 29 年度当初予算：7,105 千円（平和啓発）、5,156 千円（人権啓発）</p>
<b>実績</b>	<p>市民の平和に対する意識の醸成を図るため、講演会「憲法のつどい」、平和資料室の特別パネル展及び平和映画会等を実施しました。また、市民が人権について身近に感じ考える機会となるよう、親と子の人権映画会や講座「生きること」を実施しました。</p> <p>「ひらかた平和フォーラム」及び「平和の燈火（あかり）」については、枚方市市制施行 70 周年事業に位置づけて実施しました。「ひらかた平和フォーラム」は、会場をメセナひらかた会館から市民会館大ホールに変更したうえで、小中学生による平和学習の発表や、映画「この世界の片隅に」の上映及び枚方市出身の片淵監督の講演会（映画・講演会は昼の部、夜の部の 2 回講演）を実施しました。また、「平和の燈火（あかり）」では、市内大学等の学生を構成員とする実行委員会形式で取り組む中において、平和コンサートなどのイベントや平和に関する展示ブースを増設するなど内容を拡充して実施しました。</p>
	<p>平成 29 年度決算：6,506 千円（平和啓発）、5,156 千円（人権啓発）</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	<p>【 ◎ 】</p>

#### (4) DV 予防や男女共同参画の取り組みの推進

<b>目標</b>	<p>次代を担う子どもたちに対し、暴力の被害者や加害者にならないための DV 予防や男女共同参画の理解を深める学習を推進します。</p> <p>働き方の見直しにより長時間労働を抑制し、男女ともに家事、育児、介護などへ参画するなど、ワーク・ライフ・バランスの促進を図るため、市内事業者を対象とした研修会を実施するなど取り組みを充実します。また、関係機関と連携し、啓発事業や相談事業の充実を図ります。</p>
<b>取り組み</b>	<p>教育委員会と連携し、小学 4 年生を対象に「DV 予防教育プログラム」を実施します。また、枚方事業所人権推進連絡会と意見交換をしながら、市内事業所を対象とした効果的な啓発を行います。</p> <p>男女共生フロア・ウィルの枚方市駅近隣への移転を契機に、幅広い市民が男女共同参画について関心を持ってもらえるよう男女共同参画推進事業を実施します。</p> <p>平成 29 年度当初予算：2,685 千円（DV 防止対策事業経費）、10,344 千円（男女共生フロア経費）</p>
<b>実績</b>	<p>DV 予防教育プログラムについては、市内小学校 7 校で実施しました。また、今年度より中学生向けのデート DV 予防教育を開始し、中学校 1 校で実施しました。</p> <p>枚方事業所人権推進連絡会の夏期研修会においてワーク・ライフ・バランスに関する講座を実施したほか、枚方事業所人権推進連絡会の会員を対象にワーク・ライフ・バランスの取り組み状況についてアンケートを実施し、結果をホームページで公表しました。</p> <p>男女共生フロア・ウィルの移転に伴い、仕事帰りの市民が参加しやすい夜間の時間帯に男女共同参画に関するミニ講座や映画上映会を実施し、幅広い市民層にウィルが身近な男女共同参画の拠点施設であることを PR しました。</p> <p>平成 29 年度決算：2,159 千円（DV 防止対策事業経費）、10,132 千円（男女共生フロア経費）</p>
<p style="text-align: center;"><b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span></p>	

## 2. 行政改革・業務改善

### ◆新行政改革実施プランの改革課題

<b>改革課題</b>	<b>取り組み内容・目標</b>
<p>14. 外郭団体等の経営健全化の促進</p>	<p>エフエムひらかたについては、平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期エフエムひらかた経営戦略プログラム」の確実な実行に向け、引き続き経営改善に向けた取り組みを促します。</p> <p>また、枚方人権まちづくり協会については、平成 28 年 3 月に策定した経営プランに基づく自立的運営に向けた取り組み及び特色ある事業の実施を促すとともに、同協会に対する補助金のあり方を見直します。</p>

<b>実績</b>	<p>エフエムひらかたの第2期経営戦略プログラム及び同アクションプランの進捗状況について、エフエムひらかたとの協議を重ねて進捗管理を徹底するとともに、外郭団体等の経営改善に向けた取り組みを促進するため助言・提言等を行いました。</p> <p>また、「枚方市外郭団体等経営評価員」による点検・評価を実施し、評価結果に対する今後の対応案を作成し、団体との共有を行いました。</p> <p>枚方人権まちづくり協会については、「経営プラン」における会員増による自主財源の拡充を図る具体策として、団体及びその活動の周知のため、7月に新たにリーフレット（名刺サイズ）を作成し、11月にはホームページを新規開設しました。</p> <p>「枚方市外郭団体等経営評価員」による評価結果に対する今後の対応案や、団体内設置の調査研究部会でまとめられた報告書「財務の現状と課題」について共有を行いました。また、平成30年度予算を計上するに際しては、団体に支出していた運営補助金を廃止し、各種委託事業に適切に間接経費を算定するよう図りました。さらに団体の企画運営委員会に参画し、効率的・効果的な運営及び自立運営に向けた取り組みを促進するため助言・提言等を行いました。</p>
	<b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>

改革課題	取り組み内容・目標
45-13. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み（車両運転業務）	車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について〈考え方〉」に基づき、秘書業務の一環として円滑で効率的な業務執行を確保する観点から、適正配置に向けた取り組みを進めます。
<b>実績</b>	<p>車両運転業務については、「技能労務職員が従事する業務について〈考え方〉」に基づき、円滑で効率的な業務の執行を確保する観点から、関係部署と情報共有しながら、委託化及び職員の適正配置に向けた取り組みの検討を行いました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 ◎ 】</span>	

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
広報掲載記事標準様式の庁内共有	広報ひらかたに掲載する各課イベント等のお知らせ記事について、標準的な様式をファイル管理に掲示し庁内で共有することにより、記事校正等に係る業務効率を改善します。
<b>実績</b>	<p>お知らせ記事の改善手法について検討した結果、記事内容によって記載方法が異なることなどから、標準的な様式掲示よりも業務効率の改善効果が見込まれる広報掲載ルール等の研修を広報担当者向けに平成30年度から実施することとしました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b> <span style="float: right;">【 △ 】</span>	

テーマ	取り組み内容・目標
特別会議室の管理業務の適正化	特別会議室の管理業務について、室を所管している秘書課で使用状況が正確に把握できるよう、予約方法を見直します。
<b>実績</b>	これまで貸出ファイル（紙媒体）で特別会議室の使用予約を管理していましたが、他の会議室と同様に、グループウェア内の設備予約システム上で使用予約ができるよう運用方法を変更しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

### 3. 予算編成・執行

- ◆ バナー広告 約 224 万円、広報ひらかた広告 約 658 万円の歳入予算を計上し、安定した広告収入を確保します。

<b>実績</b>	平成 29 年度は、バナー広告 約 196 万円、広報ひらかた広告 約 699 万円の歳入を確保しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

- ◆ 平成 29 年 3 月に策定された「第 2 期エフエムひらかた経営改善プログラム」に基づき、エフエムひらかたへの放送委託料を平成 27 年度の売上高の 60%となるよう設定し、対前年度比で 77 万円削減しました。

<b>実績</b>	「第 2 期エフエムひらかた経営戦略プログラム」に基づき、引き続きエフエムひらかたへの放送委託料の削減に取り組み、対前年度比で約 77 万 7,000 円削減しました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

- ◆ 法の日週間記念市民講座等の啓発事業について、平日以外の開催や関連部署の事業との共催等により効果的に啓発するとともに、運用面での効率化を図り、全体の費用を節減します。

<b>実績</b>	10 月 26 日に実施した法の日週間記念市民講座において、関係部署とともにテーマ設定を行い、共催することで、より市民ニーズの高い市民講座を実施することができました。また、関係部署においても当講座の窓口・行事等でチラシを配布することで、より多くの市民へ効果的に啓発を行うことができました。
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ○ 】	

## 4. 組織運営・人材育成

- ◆各課の情報発信力強化を目的とした、若手職員向けのスキルアップ研修を実施します。また、各課における情報発信に関する課題などの解決に向けた一助となるよう、広報課が持つノウハウを生かした支援体制を構築します。

実績	全庁的な情報発信力強化及び職員の広報意識向上を図るため、若手職員対象の研修として6月に広報担当者向け「効果的なプレスリリースについて」の研修、7月にホームページ担当者向けCMS研修を実施しました。 また、「頼りになる広報課」として、各部署が持つ広報課題へ助言等を行う庁内支援体制を構築し、ポスターデザインなどを中心に随時相談を受け付けました。 その他、職員一人ひとりのスキルアップにつなげるため、「伝わる」を意識することの大切さやチラシ作りのポイントなど、役立つ情報をまとめた庁内報「広報の子カラ」第1号を2月末に発行しました。
	取り組みに対する達成状況

- ◆部の運営方針に基づく組織目標の共有化を図るためのOJT（内部研修）を実施し、部内職員の共通意識を高めます。また、Off-JT（外部研修）への積極的な参加を促すとともに、個々の研修の成果を部内で発表する機会を設けて知識の共有化を図り、職員一人ひとりはもちろんのこと部内全体の資質向上に努めます。

実績	8月に先進都市視察として、茨城県水戸市の「みとの魅力発信課」と埼玉県三芳町の「秘書広報室」に職員を派遣しました。定住促進につながる情報発信・全庁的な情報発信力の強化に生かしています。
	取り組みに対する達成状況

- ◆窓口や電話対応におけるトラブル事例及び改善策を部内共有し、市民応対力を向上させることで市民満足度の向上をめざします。

実績	各課におけるトラブル事例を検証して、部内共有を図り、今後の部内連携についての協議を行い、市民応対力の向上に努めました。
	取り組みに対する達成状況

- ◆人権擁護推進本部や男女共同参画推進本部の研修を通して、職員がさまざまな人権課題や男女共同参画に気づき、DV 被害者など困難な状況にある市民への適切な対応能力を培う職場内研修を行います。

実績	平成 29 年 6 月に「LGBT のこと そして人権」、平成 30 年 2 月に「多文化共生社会をめざして」をテーマに人権擁護推進本部研修を実施し、職員の人権意識の高揚に努めました。また、平成 30 年 3 月に、男女共同参画推進本部研修を男女共同参画推進本部幹事及び各課の推進担当者を対象に実施し、LGBT など性的少数者に対する窓口対応や職場環境の見直しについて大阪市の取り組み内容を学び、本市の現状と今後の取り組みについて考える機会としました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

## 5. 広報・情報発信

- ◆市の魅力を市内外へ強く発信するため、平成 29 年 4 月にリニューアルした市ホームページに定住促進サイトを新設し、情報発信力の強化を図ります。また、「市長室へようこそ」をさらに見やすくわかりやすいレイアウトに変更し、枚方市の魅力や市長の動向・考えを広く市内外へ発信します。



リニューアルした枚方市ホームページ

実績	関西圏への移住を考えている子育て世代をターゲットとした定住促進サイト「住んでくれるなら、マイカタでもいい。」を 8 月に開設し、まちの利便性や楽しさ、子育て施策、市民の声、近隣中核市とのデータ比較などを掲載することで、市の魅力を発信しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆市政に関する多くの情報を効果的に発信できるよう、広報アドバイザーからの助言を踏まえながら情報発信リーダーへの研修を行い、全庁的な情報発信意識の向上に努めます。

実績	5 月の第 1 回会議では、市長の VTR メッセージを伝えたうえで広報アドバイザーとのフリートークにより各部が抱える情報発信に関する課題等を掘り下げ、11 月の第 2 回会議では、課題への実績報告だけでなく「伝える」ことに重点を置いた研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

- ◆部事業の実施に当たっては、部内共同で情報発信手法の企画立案を行うとともに、さまざまな広報媒体を活用し、より多くの市民の参加につなげます。

<b>実績</b>	<p>部内で3回の情報発信会議を行い、具体例をもとに協議・検討を行い、各課の情報発信力の強化に取り組みました。</p> <p>市制施行70周年を迎える平成29年8月1日に向け、70周年の機運を盛り上げるため、カウントダウンに合わせて、本市フェイスブック上で「あと〇日」という画像を発信する「枚方市70歳までのカウントダウン」企画を、部内共同で検討、実施しました。目標としていた「いいね！」数（各60「いいね！」・誕生日は200「いいね！」）は概ねクリアすることができ、本市フェイスブックのフォロー数が増えました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ◎ 】	

- ◆市民相談事業の内容を広報ひらかた等で定期的にPRするとともに、オリジナルの配布物を作成するなど効果的な発信に努め、同事業のさらなる周知を図ります。

<b>実績</b>	<p>日常生活での困り事を相談できる「生活相談」や弁護士・認定司法書士等による「専門相談」について、「広報ひらかた」や市HP等で周知するとともに、「ひこぼしくん」を活用したオリジナルカレンダーを3,000枚作成し、市民への配布を行いました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 ○ 】	

- ◆「市政モニター」について、不足している若年層を中心に登録者数を拡大し、アンケート結果の正確性・有用性の向上を図ります。

<b>実績</b>	<p>市内5大学に協力いただき、学内においてアンケートの概要や登録方法を記載したポスターの掲示及びチラシを配布し、登録者拡大に向けた取り組みを行いました。</p>
<b>取り組みに対する達成状況</b>	
【 △ 】	